

2019年度 川西市むぎのめ家族会・こころ猪名川家族会) 活動報告(2)

7、市政懇談で川西市へ要望

家族会から要望書(陳情)の提出、市長、関係部課長との懇談会

1) 孤立する家族、当事者をなくす取り組みについて

全国の調査結果から多くの精神障がい者が既存の医療福祉サービス等を利用できない状況が明らかになりました。

(1) 相談支援の一層の充実、改善により、孤立をなくす取り組みをお願いします。

相談に来た人のフォローアップ体制や社会資源につなげるためのサポート体制 など、積極的な手立てを実施し、適切な支援を受けられるように進めて下さい。

(2) アウトリーチ(訪問)支援事業の拡充を検討して下さい。

訪問型の支援は精神障がい者を地域で支える重要な役割を果たしています。未治療者、引きこもりの人などを対象に地域と繋がるよう取り組みをお願いします。

(3) 家族、当事者が孤立しないように、家族会など自助グループを紹介、活用して下さい。

2) 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進」について

国の基本指針として平成 29 年度に上記の施策が定められました。精神障がい者が 地域の一員として安心して暮らすことが出来るよう、地域の保健、医療、福祉が一体となった支援の仕組みづくりが求められています。市の取り組み状況、課題などを教えて下さい。

3) 就労に関する要望

障害者雇用促進法が改定され、昨年度から精神障がい者も雇用率算定の対象になりました。市及び関係事業所で精神障がい者の雇用をお願いすると共に他への就業機会の拡大を働きかけて下さい。

従来のはずみではない多様な働き方が求められています短時間雇用など働きやすい仕組みづくりを検討いただき雇用機会の一層の拡大をお願いします。

8、家族会の課題

- ・会員の高齢化に伴い、役員のみ手がない問題、行事等に参加できない会員や退会者が増えている問題等がある。一方、最近 PR の成果もあって新規加入者も微増。
- ・今後の取り組み：新しい人を活動、運営にどう参画してもらえるかが課題。活動内容、運営体制の見直しを含めて検討していく。

9、こころ猪名川家族会 活動報告

- ・猪名川在住のむぎのめ家族会メンバーが中心になり、町や社会福祉協議会の支援を得ながら独自の活動に取り組んでいる。
- ・家族会の「ワンピース」相談会には社協や福祉関係の支援協力者が参加頂けて、活動の充実が図れている。施設見学会や研修会を実施。